

「日本ウマ科学会 第29回学術集会」にて、当社技術を発表しました

大阪府立大学、ホースベッツ、および富士通関西中部ネットテック株式会社は、2013年度より共同で技術研究を行ってきた、スマートフォンを用いた軽種馬の歩様判定システムについて、2016年11月28日～29日に開催された「日本ウマ科学会 第29回学術集会」にて発表を行いました。

当技術については、2014年12月に開催された「日本ウマ科学会 第27回学術集会」にて初回発表しており今回は、歩法判定アルゴリズムの改善と新たに取り組みを始めた歩様解析について発表しました。

学会概要

名称 : 日本ウマ科学会 第29回学術集会
会期 : 2016年11月28日(月)～29日(火)
会場 : 東京大学農学部 弥生講堂 (一条ホール、アネックス・セイホク)、3号館教授会室

発表概要

演題 : スマートフォンを用いた軽種馬の歩様解析
内容 : 軽種馬の育成調教において、馬の運動量(歩数や歩法)や跛行の兆候(歩行バランス)といった情報を記録し蓄えておくことは有用です。跛行の兆候を把握するためには、歩法を正しく判別し、歩法ごとに情報を分離して分析する必要があります。

今回の発表では、歩法認識の精度を向上させるための取り込みと、その結果、正しく分離できたWALK時のデータにおける理想の歩き方とのギャップ分析についてご紹介しました。

発表者 : ○山本規洋子¹⁾・辰巳耕司¹⁾・秋田賢一¹⁾・内藤壮司¹⁾・島田理¹⁾・田中梨沙¹⁾
河合敦子²⁾³⁾・竹中重雄³⁾

¹⁾富士通関西中部ネットテック株式会社・²⁾ホースベッツ・³⁾大阪府立大学

発表日 : 2016年11月29日(火) 14:50-15:20

お問い合わせ

富士通関西中部ネットテック株式会社

コンタクトセンター



電話 : 0120-008870 (平日 9時から17時まで)



E-mail : kcn-product@cs.jp.fujitsu.com